

1

災害が起きたときの 備蓄について

《60歳代男性》



【生活日用品】紙おむつ(幼児用・大人用)、生理用品、哺乳ビン

声 最近、テレビなどで地震や火山活動が活発になってきている報道が目につきます。

市では大きな災害が起きたときのために、食料品や生活用品など、どのようなものを備蓄しているのですか？

答 市は、平成25年2月に「千歳市災害応急対策用品整備計画」を作成して、災害が発生したときに必要となる食糧品や生活日用品、避難所用品の備蓄を計画的に進めています。

《備蓄の内容》

【食糧品】非常食、おかゆ、粉ミルク、飲料水

【危機管理課防災・危機対策係】
☎(24)0144

声のらん

「声のらん」は、主に「市長への手紙・ポスト」や「広報広聴モニター」の声と、その答えをご紹介します。このほかに、皆さんからの一般的な質問などもご紹介しますので、疑問に思っていることなどを、お手紙などでお寄せください。ただし、他の市民の方にも参考になる内容を採用させていただくため、全てを掲載することはできません。また、質問の内容を確認する必要上、お手紙には必ず連絡先と名前をご記入ください。【〒066-8686 / 千歳市東雲町2丁目34 / 千歳市企画部広報広聴課 宛】

2

防災の森キャンプ場は、 予約が必要ですか？

《30歳代女性》



声 暖かくなってきたので、子供を連れて北信濃にある「防災の森キャンプ場」に遊びに行きたいのですが、予約をしなくても自由に入りにできるのですか？

答 「防災の森キャンプ場」は、宿泊するときと、10人以上の団体が日帰りで利用するときには予約が必要になります。これ以外で火を使用しなければ、自由に出入りすることができます。

宿泊するときの利用料金は、1人1泊につき、市内在住の一般の方は300円、高校生と65歳

以上の方は150円、中学生以下の方は100円(未就学児童は無料)が必要になりますので、管理棟で支払いの手続きをしてください。

なお、未就学児童が宿泊するときは、保護者の同伴が必要になります。

また、日帰りで午前9時から午後5時までの間に利用するときは無料です。

バーベキューなどで、火を使用するときは、使用できる場所に制限がありますので、管理棟で受付を行った後、管理員の指示に従ってください。

宿泊や焼き肉をするときに必要となる資機材は、各自で用意してください。

ゴミは、お持ち帰りください。防災の森キャンプ場は、5月～10月末まで利用できます。

【防災学習交流施設】
☎(26)9993